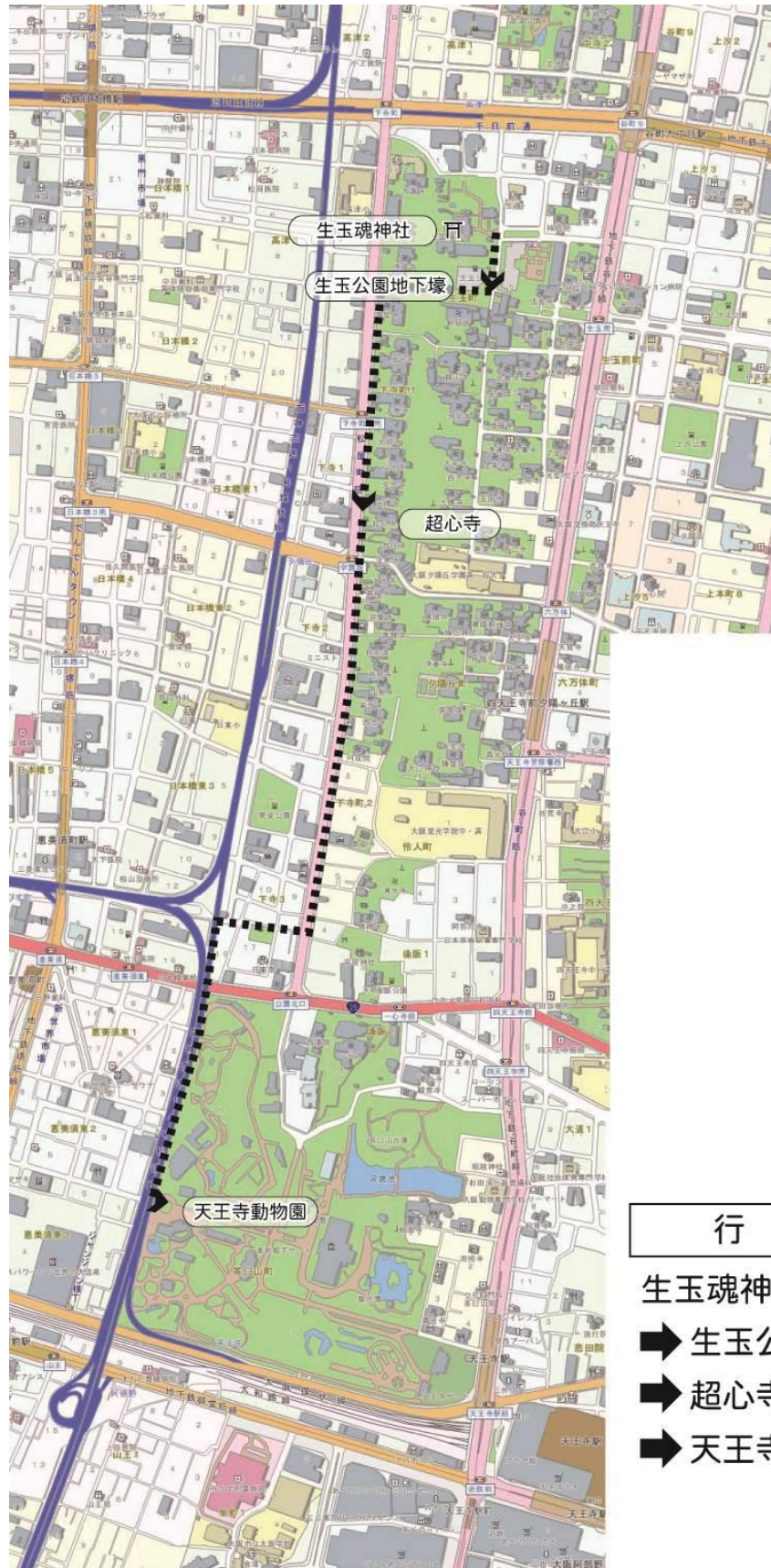




てんのうじ知りたいウォーク第7弾

戦後 70 年の天王寺「下寺町～動物園」かなしき思い出をたどる

日時 平成27年10月18日(日) 12時30分進行
主催 てんのうじ知りたい倶楽部(旧未来わがまち会議)
協力 天王寺区役所



- 行程**
- 生玉魂神社(集合)
 - ➡ 生玉公園地下壕
 - ➡ 超心寺
 - ➡ 天王寺動物園(解散)

○生國魂神社

生國魂神社は神武天皇東征の折、浪速津の岬付近に(現大阪城付近)生島神・足島神を祀られたのが最初で秀吉公が大坂城築城のため、この地に遷座されました。明治時代に官幣大社となり、日本国土の守護神(大八州の神霊)大阪の総鎮守として信仰されました。本殿の造りは、生國魂造で日本国で唯一の造りで、本殿と幣殿が一つの流れ造りで千鳥破風その下にすがり唐破風千鳥破風と三段の破風があります。境内には北向八幡宮、西鶴像(ここで一日四千句の矢数俳諧を開催した)落語の発祥の地(彦八まつり9月第一土日)、浄瑠璃神社(祭神は竹本義太夫・豊沢団平・近松門左衛門等)、織田作之助ゆかりの巳さんのくすのき、芭蕉の句碑等があります。8月11・12日には夏の風物詩大阪薪能が今年で51回を数えるようになりました。



○生國公園地下壕 ※別紙参照

○超心寺(浄土宗本派 御本尊阿弥陀仏 建立慶長3年4月(1598))

戦災昭和20年3月14日 御本尊、過去帳と山門を残しすべて焼失。地藏尊(戦災)は夜明地藏と呼ばれる。

(西照庵跡)

超心寺の裏手は、西照庵跡地で田中吉太郎の別荘であった、現在大阪夕陽丘学園。田中吉太郎 明治9年(1876)～昭和43年(1968) 元明浄学院校主。実業家、竹の皮商を営むが、非常に倹約勤勉で土地に投資し余財は貸付けし富豪となる。大阪商業学校出身で、大阪南区の土地1568平方メートルを母校大阪市立大学に寄付し、田中記念館が建設された。

(大阪夕陽丘学園)

大丸元社長、里美純吉氏の発意で1942年大丸洋裁学校が移転、のち大阪家政学園、大坂女子厚生学園、大坂女子学園高等学校を設立2005年学校法人大阪夕陽丘学園の改称



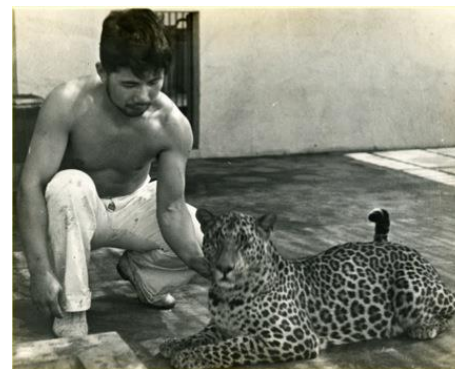
○天王寺動物園

太平洋戦争中、日本の動物園では餌不足からゾウをはじめとする多くの動物が死にました。また、軍部の命令で「空襲で檻が破壊され、動物が逃げ出したら大変だから」と、日本中の動物園で猛獣やゾウが処分されました。天王寺動物園でも、トラやゾウ、ライオンやブチハイエナなど、多くの猛獣を毒殺せざるを得なかった悲しい過去がありました。また戦時下ではチンパンジーも、兵士の格好をさせられて戦意高揚に利用されました。

(処分された猛獣)：10種 26頭

ヒグマ・ホッキョクグマ・ツキノワグマ・ライオン・トラ・ヒョウ・ピューマ・オオカミ・シマハイエナ・ブチハイエナ

(処分期間)：昭和18年9月4日～昭和19年3月15



てんのうじ知りたい倶楽部メンバー募集!

てんのうじ知りたい倶楽部は会員相互に協力し、住民意識を向上することで、住みよい魅力あるまちづくりを推進することを目的とし、天王寺区未来わがまち会議の活動を継承しつつ、天王寺区の宝(文化・歴史・企業など)を区民に知ってもらい、天王寺区に住む喜びを感じていただくとするグループです。詳しくは tennoji.shiritai.club@gmail.com にご連絡ください。